令和元年度　第２回八尾市外国人市民会議【会議録概要】

日時：2020年２月４日（火）　午後７時から午後８時30分まで
場所：市役所８階　802会議室
出席委員：野中モニカ、高谷幸、李昌宰、レ ティ キィウ　ナァー、
ダーリントン　ティカス　イブラヒム、菊川　寛仁、朴　洋幸、
フィン　トゥ　バン、藤戸里美（敬称略）
事務局（文化国際課）：鎌田課長、出水課長補佐兼係長、冨田主査

１．開会

２．八尾市多文化共生推進計画平成30年度実績（基本目標３・４）の報告について

資料１－１、資料１－２八尾市多文化共生推進計画平成30年度実績の「基本目標３　子どもの育ちを支えるまちづくり」と「基本目標４　多様性を認め合い、参加できるまちづくり」について事務局より説明。

＜意見＞

・「４－２－12　町会への加入促進」や「４－５－43　地域のまちづくりへの外国人市民の参加促進」では、外国人市民の参加者数の把握ができているのか。町会加入のチラシ配布や「わがまち推進計画」の配付を実施することは大切ではあるが、そこからどのぐらいの人たちが加入してくれたのかを把握することも大切である。
・「３－２－２　帰国・外国人児童生徒などの受入支援」について、年間の対応時間が増えており、通訳者が不足しているのではないかと思う。また、通訳者の対応時間は１人あたりの時間が決まっているのか。
・直接編入の場合、３か月までは毎日２時間、６か月までは毎日が週４日に変更、と徐々に時間が減っていくような仕組みになっている。現在、これまで受入れがなかった学校にも外国人児童が編入するケースがあり、通訳者を必要とする学校は増えているので、通訳者が不足している。
・「通訳」として日本に来られる外国人の方は少ないので、有償ボランティア制度により大学・専門学校、日本語学校等に「留学」として日本に来られる方を対象として募集している。
・人材不足の状況は今後も続くと思うので、うまくマッチングさせる工夫が必要である。
・「３－２－２　帰国・外国人児童生徒などの受入支援」について、西郡保育所が中国語通訳者を毎週月曜から金曜まで配置している、となっているが、職員の区分は何になっているのか。
・職員の区分については把握できていないので、確認をする。

３．意見交換　テーマ「八尾市外国人相談窓口で発信する情報について」

事務局より資料２、資料３について説明

＜意見交換＞

- 日本語が読めない外国人市民のために納税証明書や住民票の多言語版を作成しておけばよいのではないか。自治体によっては英語で出しているところもあると思う。
- 「年金」についての外国人市民からの問合せが増えているので、外国人相談窓口の案内チラシに「年金」という言葉を入れた方がよいのではないか。
- 就労についての情報が必要だと思う。
- 「ハラスメント」「ストレス」「うつ」「認知症」「自閉症の子ども」等、近年問題とされている課題についての情報が必要ではないか。外国人だけに関わる問題ではないが、相談員の知識としても必要である。
- 外国人相談窓口の案内チラシを、情報の取得がしにくい外国人市民にしっかりと届ける工夫が必要である。周知方法としてネットを活用するのか、学校にお願いして配るのか等検討しなければいけない。
- 外国人相談窓口の情報をＦＭちゃおで放送すればよいのではないか。
- 外国人市民にとってアクセスしやすい相談窓口にするための工夫が必要である。
- ９時から17時の窓口開設時間では、働いている人は相談しにくいのではないか。
- 現在は外国人市民の居住エリアが分散化していることから、３か所の窓口だけでなく他のエリアでも相談対応できるような仕組みがあればよいのではないか。
- 相談の内容としては、医療や健康で困っている外国人市民が多く、相談者から病院同行を求められることが増えている。
- 「年金」については制度自体を理解していない人が多いので、わかりやすく説明している情報があればよいと思う。
- 就労については、コミュニティ内での口コミで解決できている場合が多いようなので、外国人相談窓口がコミュニティと連携をとることが必要である。
- 外国人相談窓口の周知について、他の公的施設との連携が必要である。外国人市民の居住エリア分散化に対応するためには、市内に15か所にある「つどいの広場」にも外国人相談窓口案内チラシの配架を依頼した方がよい。「つどいの広場」は子育て支援の場で多言語対応できる場所ではないが、子育て中の外国人親子が訪れることもあり、そこから外国人相談窓口へと繋げられる可能性もある。
- 相談窓口に学校関連や福祉関連の手続き書類があればよいのではないか。
- 学校への外国人相談窓口周知については、八尾市在日外国人教育研究会を通じて行うことも可能である。

４．その他

事務局より、令和元年度第１回外国人市民会議の中で意見交換いただいた「小学校入学までの子育てチャート」の状況について説明

・Ａ３両面という限られたスペースの中で、やさしい日本語と外国語を載せており、意見いただいたすべての情報を掲載することはできなかったが、なるべく多く反映できるよう業者にも工夫をいただいた。

・２月下旬に納品予定となっており、納品後は相談窓口や保健センター、市民課、子育て担当課、病院等に配架してもらえるよう調整していく。

５．閉会